

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材の販売量は増加しているものの、それ以外は低迷を続けている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・軽自動車市場と同程度までの回復には至っていないが、相次ぐ新型車投入効果により、緩やかに回復している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・例年より忘年会が多いことから、景気は良くなりつつある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会があった12月は、9月に比べ、売上は増加している。ただし、忘年会の客足は、前年より、2割程度減少している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年末商戦期となり、販売量は上向いている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数や予約状況は、2～3か月前を上回って推移している。
	変わらない	美容室（経営者）	販売量の動き	・ヘアケア関連商品やメニューの需要が増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気が大幅に上向かなければ、地方までは浸透しない。原油価格の低下傾向はプラスと判断している。今後、可処分所得増に寄与する株式市場の活力に期待したい。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・昼間の来街者数が目に見えて少ない。アベノミクスによる景気回復は実感がなく、ますます消費者の財布のひもが固くなっている。忘年会シーズンにもかかわらず、夜の人も非常に悪い。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・衆議院選挙が終わり、長期安定政権が誕生した結果、消費マインドは幾分か回復したものの、大幅な改善にはつながっていない。気温が低下したことから、衣料品には動きが見られるが、高額品の動きは鈍い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・衆議院選挙の影響により月初の来客数が伸び悩み、選挙が終わってようやく動き出した感がある。依然、年末年始に向けて不透明な状況が続く。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・月の前半は人通りも来客数も落ち込んだものの、クリスマス前あたりから来客数が戻ってきた。単価はやや低めで推移している。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・12月は忘年会時期で料飲店の書き入れ時であるが、衆議院選挙の影響からか販売量が伸びなかった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・4月の消費税増税以降、食品・大型専門店などのデイリー商材は堅調であるものの、主力の衣料品と高額品は振るわず、前年より売上は悪化している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・クリスマス商戦は順調に推移しているものの、嗜好品を中心に、売上点数は伸びていない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・客数は伸びていないが、売上は値上げ等による商品単価の上昇分だけ伸びている。クリスマスケーキの予約状況は、価格が上昇した分、数量は落ち込んでいる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・依然、客数は前年を下回っている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・来客数はなかなか伸びず、横ばいの状態が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・12月前半は公務員のボーナス支給日を起点に、気温にも恵まれ、それなりに良かった。後半は曜日配列が良くなかったため、厳しい状態になっている。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・売上は、前年に比べて4%程度マイナスの見込み。重衣料の動きが悪く、単価が伸びない。客足も鈍く、気温低下と値下げ効果が予想より出ていない。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・来店客数は天候に大きく左右されるが、トータルでは変化なし。		
通信会社（企画）	お客様の様子	・顧客の動向に大きな変化はない。		
設計事務所（所長）	販売量の動き	・特に変わったことはない。		
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来客数は変わっていない。		

	やや悪く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・衆議院選挙の影響から歳暮を贈る件数がやや減少している。歳暮の動きが少し止まったように感じる。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・12月に入り、客単価が下がり始めている。通常、客単価にあまり変化はないのに、前年比97%になっている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温や天候に左右されるが、来客数の前年割れが続いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年に比べて、来客数が少なく、販売単価も上昇しない状態にある。景気は消費税増税の影響で悪くなり、まだ元には戻っていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売の回復見込みはない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・12月の新車受注は前年比60%台で推移しており、この状況がしばらく続きそうだ。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・11月同様、新車受注は減少しており、前年を上回るのは非常に難しい状況である。2～3月には上向くと思うが、当分、我慢の時が続くのではないか。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・寒波や衆議院選挙の影響により、団体旅行の中止や個人旅行客も出控える傾向が見受けられた。
		タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会シーズンの12月はそれなりに動きはあるが、お遍路客の売上は落ちている。
		通信会社（支店長）	お客様の様子	・円安の影響から、景況感が悪くなっていると判断している顧客が多い。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・12月の売上は、前月比11%増、3か月前比12%増、前年比7%減であった。場外発売で大きなレースがあり、売上増加に寄与している反面、本場の売上増加に寄与したかは疑問である。	
	悪く なっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・売上は前年比5%下落している。売れている物がない状態である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上が2割近く減少しており、かなり厳しい状況になって来ている。市内や住宅地域に比べて郊外店舗は減少幅が大きく、先行きに不安を感じている。
美容室（経営者）		お客様の様子	・来客数に変わりなく、前年比20%下落している。	
企業 動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は小売店からの発注額が増加している。得意先によってバラつきはあるが、全体的には悪くない。特に、高価格帯の商品の発注が増加している。高価格帯以外の商品は、各小売店も販売効率の良い商品を選択し、積極的に販売している。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は1年間で一番売れる時期で、売上は好調に推移している。
		鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・円安の影響から、造船関連で受注価格、販売価格に若干の値戻りがある。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・原油価格の高騰は一旦落ち着いている。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・12月の法人需要は落ち込み気味であるものの、今年には一定量の受注があり、例年よりやや良くなっている。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・売上が増加傾向で、利益を出している企業が少しずつ増加している。
		農林水産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・市場入荷量の少ない品目は高値で動いているが、重要野菜等の動きは悪い。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内受注は引き続き堅調で、海外受注は全体的に順調にある。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量はわずかながら増えているものの、全体的には3か月前と同程度である。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注高は微かに増えたが、売上は減少している。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・受注量、売上、利益、年末賞与などは企業によってバラつきがあり、良い悪いが混在している。全体的には変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が全然伸びない。

	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・例年なら、輸送車輛の確保にも苦労する繁忙期なのに、今年は物量の大きな動きもなく、発送到着の取扱物量は前年を下回った。また、1月から食品や家庭紙等の販売価格の値上げが予定されているが、その駆け込み需要に対する取扱物量の増加はなく、消費の低迷を強く感じる。	
	通信業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・理由はわからないが、全国の支店のなかで徳島県のみが落ち込んでいる。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・住居用不動産は低迷しているものの、事業用等の法人向け物件は少しずつ良くなっている。	
	公認会計士	取引先の様子	・12月の企業の決算書等から判断すると、景気は良いとも悪いとも言いきれない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が高騰しているものの、販売価格への転嫁は出来ていない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光、再生エネルギーについて、電力会社の受付中断、経済産業省の発言等を受け、非常に混迷している。そのため、今の状況は悪いと思っているが、当社は残工事を持っているので、なんとかなっている。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・国政選挙があると消費が落ち込むため、例年に比べ販促広告費を抑えている。	
悪くなっている	輸送業（支店長）	取引先の様子	・荷主からの車両手配の台数が激減しており、原料の投入回数や工場の出荷日数も減少している。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は増えてきているが、大幅な伸びはない。
		職業安定所（職員）	それ以外	・11月の月間有効求人倍率は1.12倍で、3か月前と比較して0.10ポイント上昇している。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率が改善したとの報道があったが、実際に派遣登録に来る人数に変化はない。	
	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺各企業の景況感は大きく変わらない。採用活動の活発化はあるが、不足分の確保目当てがほとんどで、業務拡大のための人員増は稀である。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・一般企業の広告出稿は控えめで、官公庁団体の広告出稿に支えられている。建設業はかなり羽振りの良いところもあるが、衆議院選挙があったために資金が還流していない。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求職者が減少するなか、就職者数は増加しており、雇用保険被保険者数も増加している。就職者の3割以上がパートで、その中には30代40代の男性もあり、景気が良くなったとは言えない。	
	民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・どの業種も、来年の景気が良くなるかという質問に対して、分からないという回答が多い。世間で言われているほど景気が好循環しているとは言えない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・欠員補充のため求人募集をかけても人材が集まらない。来てもミスマッチが起こる状況が顕著に表れている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の減少が2か月続いている。	
悪くなっている	-	-	-	